

# 自然教育園の 5月に見ごろの植物



ヤマボウシ 武 路



ガマズミ 武 路



サイハイラン 武 路



フタリシズカ 武 路



ノイバラ 水



キシウブ 水 森



アヤメ 水



カキツバタ 水



スイカズラ 水



アイロニワゼキショウ 水



ハナミョウガ 路



チョウジソウ 武 水 路



ハマクサギ 路 鳥



ハマクサギの花



セキショウ (ショウブ科)



スダイジ(花の香り) 水 路

# いきもの解説

## ヤマボウシ ＜5月中旬～6月上旬＞

開花の様子が白い頭巾をかぶった法師を思わせることにより「山法師（やまぼうし）」の名前がつけました。白い花びらのように見えるのは「総苞片」で、その中心に小さな花が球状に集まっています。

武 路



武 路

## サイハイラン ＜5月中旬～5月下旬＞

ランの仲間で、はたきのようなユニークな形をしています。陣中において、大將が指揮するときを使う「采配（さいはい）」によく似た花をつけることが名前の由来です。

武 路



武 路

## ノイバラ ＜5月上旬～5月下旬＞

野生のバラで、日当たりのよいところに多く生育します。花は香りがよいので、香水の原料にも使われます。

水



## ガマズミ ＜5月上旬～5月下旬＞

白くて小さな花が沢山咲いています。ガマズミとは変わった名前ですが、「神つ実」に基づくという説があります。10月頃には赤くて可愛い実をつけます。こちらも是非お楽しみに。

## フタリシズカ ＜5月上旬～5月中旬＞

名前は、能の「二人静」に由来し、静御前の霊とその霊に憑かれた菜摘女（なつみおんな）が舞を舞う姿にこの花を見立てたと言われています。

## キショウブ ＜5月上旬～5月下旬＞

アヤメやカキツバタの仲間ですが、日本にもともと生育していた植物ではありません。ヨーロッパ原産で、明治時代に渡来し、現在は日本全国の湿地に野生化しています。

水 森



## アヤメ ＜4月下旬～5月上旬＞

外側の大きな花びら（外花被片）の根元にある模様が綾目（あやめ）であることが名前の由来と言われています。少し乾燥した草地に生育しますが、野生のものはかなり少なくなっています。万葉集などで、菖蒲と書いて「あやめ」と読んでいたのは、サトイモ科のショウブのことで、本種ではありません。

水



## ハナミョウガ ＜5月中旬～6月上旬＞

茎や葉がミョウガに似ていて、花が美しいことが名前の由来。この花のタネは漢方薬として「伊豆縮砂（いずしゆくしゃ）」の名で呼ばれ、腹痛などに用いられます。

路



## カキツバタ ＜4月下旬～5月中旬＞

名前は、カキツケバナ（搔付花、書付花）の転じたもので、花の汁をこすりつけて染めたことによります。「万葉集」や「伊勢物語」などの古典文学に登場し、家紋にも用いられるなど、古くから日本人に親しまれた植物です。

水



## チョウジソウ ＜4月下旬～5月中旬＞

花の下の部分が胴長で、この形が香辛料となるチョウジ（フトモモ科の高木）の花に似ることから、名前がつけました。有毒植物。川岸の木の下や湿地にまともって生えます。園芸目的の採集や埋め立てなどにより減少し、絶滅が危ぶまれる植物です。

武 水 路



## スイカズラ ＜4月下旬～5月下旬＞

かつて子供が花の蜜を吸ったことが名前の由来。別名のニンドウ（忍冬）は、冬にも葉を落とさないことにちなみ名称です。花はともよい香りです。花の咲き始めは白色ですが、受粉すると黄色になるため、キンギンカ（金銀花）の名で呼ばれることもあります。

水



## ハマクサギ ＜5月中旬～6月上旬＞

海岸近くに生育し、葉や茎に傷をつけるとにおうことにより名前がついたとされますが、それほど悪臭ではありません。南紀・中国・四国・九州などの暖地に分布し、園のものは江戸時代の下屋敷時代に移植されたと考えられています。

路 鹿



## アイロニワゼキショウ ＜5月上旬～7月上旬＞

庭に生え、葉がセキショウ（ショウブ科）に似ていることから名前がつけました。日本には観賞用として持ち込まれた北アメリカ原産の植物です。

水



セキショウ (ショウブ科)

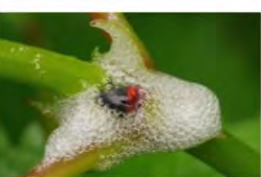


水 路

探してみよう

## アワフキムシの仲間

木の枝や草の茎をよ〜く探すと、泡だらけになっている場所があります。この泡の中には「アワフキムシの仲間」の幼虫がすんでいます。アワフキムシの仲間は、植物の汁を吸って生きていますが、泡は、その栄養分を吸収した残りモノから作られています。



ハマクサギの花



## スタジイ(花の香り) ＜4月下旬～5月下旬＞

路傍植物園を中心に独特の香りが漂っています。よく「クリの花の香りに似た」「青臭い匂い」などと表現されますが、これはスタジイの花の香りです。スタジイは虫が花粉を媒介する「虫媒花」で、強い香りで虫を誘います。